

千厩小学校卒業証書授与式 青い眼の友情人形「ベティちゃん」も祝福 3/18

千厩小学校及び一関清明支援学校千厩分教室小学部の卒業証書授与式が3月18日に行われ、千厩小57名、清明支援小学部5名の計62名が卒業し、4月からの中学校生活に歩み出しました。千厩小学校の伊東洋司校長は、式辞の中で、スペシャルゲストとして青い眼の友情人形「ベティちゃん」を紹介しながら、「ベティちゃんや分教室の仲間と過ごした皆さん、10年・20年後には、希望あふれる地域の道しるべになってくれることを願います」と励ましの言葉を贈りました。また、清明支援学校の外館悌校長は、「ハピきら」から「みなとモ」学級に進む子どもたちへ「友情の力を大切にし、周りの人から、ありがとうと言ってもらえる素敵な人になってください」とお祝いの言葉をかけていました。



卒業証書の授与（千厩小体育館）
「あらたまキッズ」も元気に卒業

菅原一郎氏 高齢者叙勲「旭日単光章」受章記念祝賀会 マリアージュ 3/22



奥玉振興協議会の第三代会長で現顧問の菅原一郎氏の高齢者叙勲「旭日単光章」の受章記念祝賀会が、3月22日にマリアージュを会場に開かれ、約100名の方々が出席し受章の喜びを分かち合いました。

初めに発起人代表の小野寺雅彦行政区長が挨拶。千葉浩天ヶ森自治会長より受章者の経歴紹介が行われ、来賓として市長代理の菅原由幸千厩支所長と永澤由利市議会副議長から祝辞があり、花束贈呈や受章者の謝辞、祝謡などの後に菅野政彦奥玉振興協議会長の発声で乾杯し、祝宴に移りました。

受章者の菅原氏は、「青年団活動から始まり、各種の地域活動に取り組んできた。人の歩みはそれぞれながら、各位のご支援・ご指導で叙勲の栄に浴することができ、本日89歳まで生きられた」と感謝の言葉を述べられました。

祝宴では、入山沢餅つき隊による餅つきや振る舞い餅も行われ、終始賑やかな中で会は進行し、最後に、勝部修奥玉振興協議会名誉顧問が、「後期高齢者の後期は、好機（チャンス）」「長年の菅原氏の活躍は私の誇りでもある」と受章者を称え、万歳三唱の音頭を取りました。



謝辞を述べる受章者 菅原一郎氏



入山沢餅つき隊の皆さん

勝部修名誉顧問と菅原一郎氏

交通安全協会奥玉分会 通常総会 新分会長に藤野清貴さん 3/11

東磐井地区交通安全協会奥玉分会（藤原幸夫分会長）の通常総会が、3月11日、奥玉市民センターで代議員19名のほか来賓や分会役員など35名の出席で開かれました。

開会に当たり藤原分会長からは、「関係各位のご協力とご支援のもと、特に大きな事故もなく各種事業を推進できた。引き続き、安全安心で住みよい奥玉地域を目指した活動にご協力願いたい」と挨拶があり、来賓の菅原由幸千厩支所長、菅野政彦奥玉振興協議会長の祝辞が述べられました。

総会は、金安信さん（町下）を議長に選出し議事が進められ、「高齢者や子供の交通事故防止」など10項目の事業計画や令和8年度収支予算案が原案のとおり可決されました。

また、任期満了による役員改選では、新たな分会長に藤野清貴さん（宝築）が満場の拍手で選出されました。



奥玉分会の総会（奥玉市民センター）

【新役員】

- 分会長（1名）：藤野 清貴（新・宝築）
- 副分会長（2名）：村上 達男（再・花貫） ・ 金野 剛一（新・花貫）
- 監事（2名）：千葉 浩（再・天ヶ森） ・ 菅原 正太郎（新・花貫）



市民センター等清掃作業員へ感謝状贈呈 3/25

奥玉市民センターや維新館、おくらんどの清掃業務に携わってきた足利美智代さん（大東町曾慶）が3月末で退任されました。

足利さんは、令和2年9月から5年6ヶ月の間、週一回施設のトイレや屋内外の清掃作業に従事されました。年度末最後となった3月25日には職員一同で感謝の気持ちを込め、特製の「感謝状」を贈りました。

写真は、足利さん（中央）と市民センターの職員



花貫自治会自主防災会 地区内での火災に炊き出し支援 3/10

花貫自治会自主防災会（村上達男会長）では、3月10日に地区内で発生した住宅火災の消火活動に当たった消防団員等への炊き出しを行いました。

夜7時50分頃に発生した火災には、消防署員や各消防団から出動の約80人が消火活動に当たり、およそ5時間後に鎮火となりましたが、自主防災会では、緊急の呼びかけを行い、地区集会所に20数名が参集し、持ち寄った米や炊飯器などで約150個のおにぎりを作り、ペットボトルのお茶も4箱100本程を準備。

その後、深夜に及ぶ消火活動となった団員の集合場所に届けられ、それぞれ配付されました。

また、鎮火後も、現場の警戒監視に当たった地元の消防団員には、暖かいポットのお湯やお茶が届けられ、「大変有難い。何より体が温まる」と感謝されていました。



炊き出し（花貫文化会館）



消火活動に当たった消防団員の皆さん

奥玉パッチワーク学習会 「和布のポシェット」づくり挑戦中

奥玉パッチワーク学習会（千葉洋子代表）では、今年の課題として「ポケットがいっぱい！！和布のポシェット」の作品作りに取り組んでいます。

今回の作品は、これまでの壁掛けやテーブルクロスなどのタペストリーとは異なり、ファスナーを多く縫い付けたり、ループを止めたりと、会員の皆さんもこれまでの作り方とは少し勝手が違うと戸惑いながらも、手慣れた様子で作業を進めていました。

この日は、講師の高橋順子さん（西和賀町）の指導で、材料となる和布の選び方やポケットとなるファスナーの縫い付け方など細部にわたる指導をいただきながら、思い思いのペースで作品を仕上げていました。



制作中の「和布ポシェット」



指導に当たる高橋順子先生（左）



学習会の様子（奥玉市民センター創作室）

市集落支援員制度 連携して地域コミュニティの維持・活性化を推進

令和7年度から市では総務省の集落支援員制度を導入し、各地域協働体から推薦された者を市長が支援員として委嘱し支援活動を進めています。

また、奥玉振興協議会では、市と連携して地域コミュニティの維持及び活性化を図り、過疎地域等における集落対策の推進を図るため、「奥玉地区集落支援員設置要領」を制定し、各職員が出前講座の開催や各総会等への出席、研修企画・相談など集落に出向く活動を通して、地域の現状把握や関係機関との連絡調整に努めることとしています。（活動状況等は本紙でも随時紹介していきます。）

